

初回カンファレンスまでにご用意いただきたい資料（口頭・資料）



以下の項目についてカンファレンス時にご提示ください。

可能であれば事前に資料をいただくと助かりますが、後日まとめて送付いただいても結構です。

- 年齢、性別
- 診断名と治療経過（可能であれば画像をご提示ください）
- 合併症・併存疾患の有無、アレルギーの有無
- 今後の治療方針、放射線治療のコンセプト（照射時期、部位と線量、化学療法とのタイミング等）
- MRIなどの検査時の鎮静の有無
- 入院の必要性と理由（合併症の対応が必要、家族の付き添いが困難、移動手段がない等）
- 本人の疾患理解および告知情報、家族の受け入れ
- 住んでいる場所と当院までの交通手段
- 陽子線治療中の通学や通園の希望
- 体調不良時の受診施設の確認（基本的には元施設へ連絡とさせていただきます）

初診までにご用意いただきたい資料（要郵送）



- 名前、性別、生年月日、治療施設ID
- 診断
病理診断 【病理診断報告書（自施設・中央病理診断）】
- 経過、これまでの治療歴
化学療法：治療内容、総投与量
手術：部位、術式、日付、治療施設 【手術報告書】
放射線治療：部位、線量、放射線治療施設 【過去の放射線治療の記録、線量分布図】
画像 【画像データ（診断時、治療開始後、直近）、可能であれば読影レポート】
代表的な血液検査データの推移
腎機能、心機能データ
直近の身長・体重
- 合併症、併存疾患の有無（臓器障害、神経障害、運動障害、発達障害など）
- 今後の治療方針、放射線治療のコンセプト（照射時期、対象病変）
化学療法や手術とのタイミング（陽子線治療後に後治療があるか？）
直近の治療がいつまで行われ、陽子線治療の計画～治療の際にはどのような状況になっている予想か。
（骨髄抑制期、回復期、合併症など）
- 現在の内服薬
- デバイスの有無（CV・PICC、オンマヤ、VPシャントなど。CV・PICCの長さや管理方法なども）
- 輸血製剤等の前処置の有無
- 本人の疾患理解および告知状況、家族の受け入れなど
- 住んでいる場所、湘鎌までの交通手段、付き添いは誰か
- 陽子線治療中の学校、幼稚園などはどうするか？（お休み、オンライン授業、通学するなど）
- MRIなどの検査時の鎮静の有無（母子分離が15分以上可能か）
- 入院の必要性と理由（合併症の対応が必要、家族の付き添いが困難、移動手段がない等）
- 体調不良時の受診施設（自施設、遠方の場合はどこにバックアップを頼んでいるか）
- 主治医/担当医の連絡先、家族の連絡先
- 看護サマリー（可能な範囲で）
- 心理士評価・リハビリ評価（必要に応じて）

注意

※紹介から治療開始までに1ヶ月以上の間隔が開く場合、もしくは紹介後に体調の変化があった場合、メールで結構ですので状況の報告をお願いいたします。

※治療開始前の直近の検査データを送付もしくは患者さんが持参するようにしてください。